

公開シンポジウム

人生をどう締めくくるのか

—終活ブームの背景にある家族と社会の変化—

多死社会である今日、死は身近に遍在しているものの、その在り方は従来とは異なる様相を示し、さまざまな問いを私たちに突きつけています。死にゆく過程、葬送や墓、先祖祭祀、家の継承、財産の処分等々、抛るべき慣習や託すべき存在が曖昧になり、みずからが考え決定することを求められています。そして私たちは、自身の死について考えることが、今をいかに生きるかを考えることと背中合わせにあるのだということに気づき始めてもいます。

このような問題意識のもと、生と死をめぐる諸問題を研究しておられる先生方にそれぞれのお立場からご報告をいただき、参加者も含めて議論を深めたいと考えています。

日時・会場

2024年10月26日（土）

受付 12:30～【1号館1階ロビー】 開始 13:00～16:00

会場 東京家政学院大学 千代田三番町キャンパス 1号館4階1407教室
〒102-8341 東京都千代田区三番町22

プログラム

司会 藤崎 宏子（元お茶の水女子大学）・安藤究（名古屋市立大学）

報告1：「死後福祉」をつくる—無縁社会における支援システム—
東洋大学現代社会総合研究所客員研究員 井上 治代 氏

報告2：変容する家族と葬儀—私たちは葬儀に何を求めるのか—
尚絅学院大学教授 渡邊 千恵子 氏

報告3：財産の家族的継承と社会的継承—自己決定としての遺贈寄付—
立教大学社会デザイン研究所研究員 星野 哲 氏

討論：名古屋市立大学教授 安藤 究 氏

参加費無料

【お申込み】

お申込み期限：2024年10月21日（月）

参加申し込みリンク

<https://forms.gle/XdaLCF6xBM3Ay4wB9>

右のQRコードからも
お申込みできます。

⇒⇒⇒



主催：一般社団法人日本家政学会 家族関係学部会

共催： 東京家政学院大学
TOKYO KASEI GAKUIN UNIVERSITY

【お問い合わせ先】

一般社団法人日本家政学会 家族関係学部会

44kazokukankei@gmail.com